

# 会 議 議 事 録

1 会議名	平成29年度 第1回 長岡市障害者施策推進協議会
2 開催日時	平成29年7月7日（金曜日） 午後2時から午後3時30分頃まで
3 開催場所	社会福祉センタートモシア 3階 多目的ホール
4 出席者名	<p>(委員) 阿部委員            五十嵐委員            佐々木委員                   関委員                    土田委員               沼田委員                   長谷川和明委員   長谷川剛委員                   藤田委員                本田委員               丸山委員                   諸橋委員                山口委員               吉田委員                   米山委員</p> <p>(事務局) 福祉保健部長                   福祉総務課長ほか関係職員                   福祉課長ほか関係職員                   子ども家庭課長                   長岡市社会福祉協議会 事務局長</p>
5 欠席者名	<p>(委員) 飯田委員            池野委員               小田島委員                   横田委員</p>
6 議題	<p>(1) 第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画の進捗状況について</p> <p>(2) 障害者生活実態調査及び福祉サービス等供給実態調査の結果について</p> <p>(3) 第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画の策定について</p> <p>(4) その他</p>
7 審議の内容	
発言者	議 事 内 容

福祉総務課課長補佐

皆様、本日はお忙しいところ、また、大変暑い中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただ今から平成29年度第1回障害者施策推進協議会を開会いたします。

このたびは、当協議会の委員就任をご快諾いただき、誠にありがとうございます。平成32年3月までの3年間、皆様どうぞご協力をお願いいたします。

本日は4名の委員の方が欠席でございます。飯田薫委員、池野宏子委員、小田島奈緒子委員、横田敏盛委員、以上4名の方が欠席でございますので、あらかじめご報告させていただきます。

それでは、開会にあたりまして、福祉保健部長よりごあいさつを申し上げます。

福祉保健部長

皆様、ごめんください。本日はお忙しいなか、お集まりいただきまして、ありがとうございます。本日は、雨も上がって、お天気も良くなりまして、幸いですけれども、少し前どうなることかと思っておりました。長岡市としても災害対策ということで、いろいろ対応していたところでございます。また、現在九州における甚大な被害が報じられておりますけれども、それを見るにつけ、今後の対応が非常に懸念される場所だと感じております。また、今後、我々としても、なにか支援等の策を講じる必要があると感じているところがございます。また、昨日の新聞報道では日本の人口が減少すると改めて報じておりました。皆さんご承知のとおり、超高齢社会の中にあって、さらに人口全体が減少しています。そういう点では、障害者施策の分野におきましても、障害者の高齢化ということも非常に大きな課題としてクローズアップされつつありますし、また、障害者を支えてくださっている家族の皆様方も高齢化という点で現状見たときに、そういう社会全体の中のことを考慮した上で今後施策を進めていく必要があると改めて感じるところでございます。先ほど、司会からお話がありましたように、委員の改定をして、本日が初めての委員会でございます。これから3年間、新しい計画を作るために、皆様からいろいろご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。とくに今年度は、例年よりも数多くの開催を予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。今年はこの障害者の計画もそうですが、高齢者の計画も策定する年にあたっております。また、県のほうでは、医療計画の改定も予定されてい

<p>福祉総務課課長補佐</p>	<p>ます。そういう様々な計画との整合性をとりながら、この障害者の計画も進めていく予定にしておりますので、それぞれのお立場、また、専門性のあるお立場からいろいろとご意見をいただきたいと思っております。この障害者の新しい第5期計画の課題は様々あると思いますけども、最終的に目指すべきは、地域共生社会の実現というところになってくるのかなと思います。これは障害者の計画だけでなく、高齢者の計画、あらゆる計画がこれに向かっているのではないかなと感じているところであります。その実現のためには、さまざまな課題に取り組んでいく必要があるわけですが、この障害者の計画におきましては、当然、サービスの不足のない提供体制を整えることはもちろんでございますが、これまでの課題にあるような、地域への移行促進ですとか、就労の問題。それから障害者差別解消に向けた取り組み等、そういうようなことも具体的に策を講じていく必要があるというように感じております。また、第5期の計画においては障害児の支援についても、さらに議論を深めていく必要性が生じていると思っております。それから、長岡市の障害者の計画において大きな変更点としては、包括的な相談体制の構築、具体的にいうと障害者の相談支援事業所、市内に何か所かありますが、その相談支援事業所の役割とか業務内容を改めて徹底し、新たに長岡市全体の地区担当制というような考え方を導入していきたいと考えております。その地区担当制の区割りにについては、高齢の地域包括支援センターというのは地区担当制がしかれていますが、その地区割りに重なる形で、選定するのが望ましいというように考えております。そこで分けた地域の中で、高齢者の問題も、障害者の問題も、子どもの問題も、そういうあらゆる地域の課題を総合的な視点で、解決に向けて、地域共生社会を作り上げていくというようなイメージをもっておりますので、今後いろいろとご意見をいただきたいというように考えております。これから1年間、長丁場でございますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。</p> <p>それでは、2の自己紹介に移ります。本日は委員の改選後、初めての会議ですので、委員の皆様にお一人ずつ自己紹介をお願いします。</p> <p>(各自自己紹介)</p>
------------------	---

<p>福祉総務課課長補佐</p>	<p>皆様、ありがとうございました。</p> <p>続きまして、事務局の紹介をさせていただきますが、時間の都合もございますので、関係いたします課の課長と社会福祉協議会の課長のみとさせていただきます。部長は先ほど、ごあいさつ申し上げましたので、福祉総務課長から順にお願いいたします。</p> <p>(各自自己紹介)</p>
<p>福祉総務課課長補佐</p>	<p>それでは、資料の確認をいたします。事前にお送りいたしました資料がいくつかございますが</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 資料 No. 1</li> <li>・ 資料 No. 2-1</li> <li>・ 資料 No. 2-2</li> <li>・ 資料 No. 3</li> <li>・ 資料 No. 4-1</li> <li>・ 資料 No. 4-2</li> <li>・ 資料 No. 5</li> </ul> <p>以上でございます。</p> <p>また、本日机前にお配りしましたものが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員名簿</li> <li>・ 本日の会議の配席図</li> <li>・ 資料 No. 4-3</li> <li>・ 長岡市障害者生活実態調査の調査結果冊子</li> <li>・ 長岡市自立支援協議会の構成</li> </ul> <p>という資料でございます。</p> <p>皆様、お手元でございますでしょうか。</p> <p>それでは、はじめに障害者施策推進協議会の概要につきまして、福祉総務課長から、ご説明申し上げます。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>それでは、この協議会の概要について説明をさせていただきます。</p> <p>(資料 No. 1 に沿って説明)</p> <p>説明については以上です。</p>

福祉総務課課長補佐	<p>それでは続きまして、委員長、副委員長の選任に入ります。福祉総務課長から、委員長、副委員長の選出方法について説明いたします。</p>
福祉総務課長	<p>資料 No. 1 をご覧ください。第 4 条において、委員長、副委員長については、各 1 人を置き、それぞれ委員の互選により定められております。以上です。</p>
福祉総務課課長補佐	<p>それでは、選任を行います。どなたかご提案のある方はいらっしゃいますか。お願いします。</p>
委員	<p>はい。これまで、委員長を務めていただいた本田委員から引き続きお願いできればと思います。</p>
福祉総務課課長補佐	<p>ただいま、本田委員へのご推薦がありました。皆様ご賛同いただけますでしょうか。ありがとうございます。それでは本田委員お願いできますでしょうか。それでは本田委員は委員長席にご移動をお願いします。</p> <p>それでは、本田委員長から一言ごあいさつをお願いいたします。</p>
委員長	<p>ひとつよろしくお願いします。全体の進行役として、御意見等いただきながら、第 5 期の計画を策定したいと思いますので、皆様の協力をお願いします。</p>
福祉総務課課長補佐	<p>ありがとうございました。続きまして、副委員長の選任についてですが、副委員長については、委員長の指名により選任したいと思いますがいかがでしょうか。それでは、委員長お願いします。</p>
委員長	<p>それでは、私から指名したいと思います。副委員長は米山委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
福祉総務課課長補佐	<p>米山委員御承諾いただけますでしょうか。それでは副委員長席にご移動をお願いします。それでは、米山委員より一言ごあいさつをお願いします。</p>

副委員長	委員長をサポートしていきたいと思いますので、皆様の御協力をお願いいたします。
福祉総務課課長補佐	ありがとうございました。それでは、ここからの進行は委員長にお願いします。よろしくをお願いします。
委員長	それでは、4 議題の(1) 第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。
福祉総務課長	<p>それでは第4期の進捗状況について御説明いたします。</p> <p>(資料 No. 2-1 に沿って説明)</p> <p>説明は以上です。</p>
委員長	第4期計画の進捗についてでした。昨年、障害者差別解消法が施行され、大変力をいれて取り組まれたということでした。御質問、御意見等ある方はいらっしゃいますか。どうぞ。
委員	<p>3つほど質問させていただきます。すこやか・ともしびまつりで500人ほど増加ということで、微増でしょうが、福祉関係者以外の来場者が増えているということで、大変評価をしております。これは最も好ましい姿ではないかと思っております。新潟市では、まちごと美術館というものをやっていて、主に知的障害者の方が作られた作品を駅等に展示しているということです。障害者の作品等が街に出ていっています。すこやか・ともしびまつり等でもこのような事業を実施できないかということです。行政に限らず、民間の力も使いながら、福祉行政を行っていければと思っておりますが、何かお考えありましたらお願いします。</p>
福祉総務課長	<p>はい、すこやか・ともしびまつりを評価いただきましてありがとうございます。実数は出ていませんが、実行委員の方々、スタッフ等に確認し、子ども連れ等の家族での来場が増加しているということでしたので、実績として掲載させていただきました。いただきました事業についての説明は、福祉課長より説明いたします。</p>

福祉課長	<p>御提案いただきました障害者の作品を公共の場に展示してはどうかということですが、今年度11月から12月にかけてアオーレ長岡、社会福祉センタートモシアで作品展示に向けて、作品の発掘も含めて準備を行っている段階です。公共の場と大手通商店街からも協力いただき、今年度行っていきたいと考えております。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>楽しみにしております。そもそも障害者福祉という言葉があること自体、遅れていると思っております。早く、障害者福祉という言葉がなくなり一般の方と生活できることを願っております。市によっては障害者の害の字を平仮名にしているところもありますが、この表記は私は歓迎しておりません。腫れものに触るようなことではなく、障害者は障害者として生きていける世の中になればよいと考えております。二つ目ですが、障害者の法定雇用率についてですが、2.0から2.2に上ったということを聞いておりますが、新潟県内の雇用率が上がっていると聞いています。就労を大変重要視していただいておりますが、なぜ雇用率が上がったのかを含めて、御答弁ありましたをお願いします。</p>
福祉課長	<p>先ほどの資料にありましたように、福祉課においても職場体験実習を行っております。短い方で10日間から、長い方で1か月行っています。また、ジョブサポーターの方から御努力をいただいて、人材のミスマッチの改善に努めていただいているおかげかなと思っております。</p>
福祉保健部長	<p>補足ですが、長岡市に限ったことではないですが、オリンピック、パラリンピック等によって障害者が様々な場面で活躍している姿を見ることが多くなっております。そのようなこともあり、企業等においても、障害者への理解が少しずつ意識が変わりつつあり、人手不足の昨今の現状も含めて、少しでも雇用の場を提供したいという企業側の意欲があり、社会全体として障害者の雇用率が増加しているのかなと感じております。長岡市に限った施策ではないですが、全国的にそのような流れにあるのかなと思っております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>3点目ですが、障害者差別解消法が昨年施行され、本市において</p>

	<p>も積極的に行っていただいておりますが、委員会の中で本市でも条例化する予定はないのかと質問させていただいておりましたが、条例を策定をとるという立場でお話をさせていただいておりました。しかし、今の状態で、本市で改めて条例を作るほうがいいのか、国の法律で間に合っているということなのか。作ってもそれほど違うものにならないため、今作るべきではないという考えもありますので、どのようにお考えかをお答えいただければと思います。</p>
福祉保健部長	<p>昨年度から内部では様々な観点で検討を行っております。現在の結論としては、条例制定も視野には入れておりますが、今すぐということでは考えておりません。理由としましては、国に準じた条例となるということです。それでも良いから作るという考えもありますが、長岡市の独自性がある方が望ましいと考えております。当事者団体の連携もできつつあり、団体の考えも踏まえたなかで、作るのであれば、長岡市の独自性も含めた中で作りたいということでもあります。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今年第5期を作る中で考えていくことなのかなとも思いますが、どのような形が良いかを検討していくことが必要かなと思います。その他ありますでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>福祉施設からの一般就労の箇所、就労移行支援で計画より人数が下回っています。また、就労継続Bの人数が思った以上に増えています。また就労継続Aも増えています。就労移行に関しては長岡市は進んでいると思いますが、なぜ、就労移行支援が増えないのかと思います。特別支援学校の生徒がどの程度、移行支援に入っているのか。また、国の事業で明德高校が通級指導教室のモデル事業で開始になりますが、明德高校からの移行支援の生徒が出てくると思いますが、長岡市の受け皿の低さについてどう感じておりますでしょうか。また、就労継続Aからの就労ができているかどうかについて、高等総合支援学校から就労継続Aにどの程度入っているのかも含めてお聞きしたい。保護者は就労継続支援Aに入ったら満足するが、就労継続Aは就労ではなく、あくまで就労継続Aということで、学校も説明はしているのかということについてお聞きしたい。</p>



福祉課	<p>高等総合支援学校の卒業生の就労施設への移行者数ですが、3年間の数字ですが、26年度が14名、27年度が12名、28年度が10名です。補足ですが、高等総合支援学校から一般就労している人数についてですが、26年度が11名、27年度が5名、28年度が10名です。就労移行支援事業所の利用者数が計画に対して少ないということで、なんとかしなければと考えております。就労移行支援の利用者は横ばいですが、一定数の一般就労につながっている福祉サービス利用者については必ずしも減っていないということで、就労移行支援利用者を増やすことだけではなく、支援員のスキルアップも含めて協議をしております。それらを含めてハローワーク等関係機関を含めて、自立支援協議会でも検討させていただいております。</p>
委員長	<p>はい、就労移行の学校からの実態についてでした。</p>
委員	<p>30年度に移行支援事業所のパーセンテージが上がるため、移行支援事業所が厳しくなっていくと思うので、必要なのかなと感じています。一般就労するために、長岡市の就労支援事業所は充実していると感じますが、質のアップをすることによって長岡市の企業に就職することにつながると感じました。雇用率は今後上がっていくため、そこを考慮いただければと思います。</p>
委員	<p>私どもは就労支援事業所を行っておりまして、医療法人では私どもだけです。移行支援は定員6名ですが、昨年は3名企業に就職しました。移行支援は2年という期限がありまして、3名いなくなると3名埋めるのがなかなか厳しいです。毎日きている人が何人いるかというのが定員なので6名以上います。先ほど、移行の場合は就労が目的ですので2年以内に事業所にお願ひし、実習をしています。就労継続B型については、一度どこかに勤めた後、B型に入っている方が多く、ずっと入ることができますので、楽なスタイルということで人数が伸びているのかなと思います。A型については、就労していないと言っておりましたが、A型は最低賃金を保障するという形です。企業と雇用契約を結ぶという理解ですが、県内では和島で行っていたり等ありますが、どんどん増えていけばいいのかなと思います。事業者側としてはA型だから就職していないとなるとそうではないのかとも思ってしまうのですが、一般就労に結びつけばさらにいいのかなと思います。どんどん作ればいいのではなく、</p>

<p>委員長</p>	<p>就労に結びつくことが必要なのかなと思います。</p> <p>もう一点は、病院で入院している方が外になるべく出るようになっていきます。ある病棟では30日以内で退院することとなります。そうすると地域で受け入れることとなります。質を上げるとありましたが、一般企業に半年以上になると、事業者のサービス単価があがるため、国も様々な事を考え、誘導していますが、すぐには上手くいかないというのが現状です。そういう意味で御意見、御指導いただければと思います。</p> <p>就労ということで重要な部分でございます。国の制度等と上手くリンクしていく必要があるのかなと思います。ポイントの所だと思えますので、今日で終わりではございませんので、今後とも検討していければと考えております。</p> <p>それでは議題の(2)障害者生活実態調査及び福祉サービス等供給実態調査の結果について、報告をお願いします。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>それでは実態調査報告書をご覧ください。</p> <p>(実態調査報告書に沿って説明)</p>
<p>福祉課長</p>	<p>引き続き、資料No.3をご覧ください。</p> <p>(資料No.3に沿って説明)</p> <p>説明は以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>第5期のための調査の報告でした。これを活かして第5期を策定していきたいということでございます。よろしいでしょうか。</p> <p>つづきまして、(3)の第5期障害者基本計画・障害福祉計画の策定について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>はい、資料No.4をご覧ください。</p> <p>(資料No.4-1、4-2に沿って説明)</p>
<p>福祉課長</p>	<p>引き続き、資料No.4-3をご覧ください。</p>

	<p>(資料 No. 4-3 に沿って説明)</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>第5期の課題についてでした。こちらの課題等を考えながら、第5期計画を策定していこうということでした。何か質問等ございませんか。</p> <p>それでは、その他について事務局からございますか。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>福祉課より、障害者自立支援協議会について説明させていただきます。</p> <p>(障害者自立支援協議会の構成についてに沿って説明)</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>つづきまして、福祉総務課より地域福祉計画について説明させていただきます。</p> <p>(資料 No. 5 に沿って説明)</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。新しい地域福祉計画を一つ取り上げて、単独で作ろうということでございます。最後に全体をとおして、質問等ありませんでしょうか。ないようですので、進行を事務局へお返ししたいと思います。</p>
<p>福祉総務課課長補佐</p>	<p>長時間にわたり、活発なご審議をいただき、大変ありがとうございました。次回の会議でございますが、9月下旬を予定しておりますので、決まりましたらご案内をいたします。また、本日お車でお越しの方につきましては、駐車券の無料処理をさせていただきますので、事務局までお声掛けください。以上をもちまして推進協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>

8 会議資料	別添のとおり